

Designing for Everyday Lives 大学生ボランティアと地域活動の取り組み

城西大学現代政策学部 柳澤ゼミ

1.人に少しでも優しくなる活動

柳澤ゼミでは、大学生が地域の子どもや高齢者、行政と協働しながら、日常の中で「少しでも優しくなる」活動を実践しています。子ども向けの遊び場づくりや地域イベントへの参加、児童作品展の運営サポートなどを通じて、地域の方々に学びや体験の機会を提供し、世代を超えた交流を生み出しています。

これらの活動を通じて、学生自身も実践的な学びやリーダーシップを得るとともに、互いに支え合う関係の大切さを体感します。日常の小さな協力や思いやりの積み重ねが、地域全体の安心・信頼につながることを目指しています。



柳澤ゼミ ゼミ長 藤沼 朝陽

2.OUR MISSION



小学生の遊び場づくり

Creating Play Spaces for Kids

少子化によって小学生の全校生徒の数が減っています。地域で子どもが安心して遊べる場を提供しています。



現場との連携

Close Collaboration with Sites

MOA美術館主催 坂戸鶴ヶ島 児童作品展の運営サポート。子どもたちの表現を支え、地域に喜びと世代を超えた関わりで思いやりの心を育てます



未来に向けた提案

Shaping Future Living

行政からの依頼を受けて、お祭り・展示会などへの参加・運営（みんなで協力してイベントを盛り上げる）をしています。



地域連携活動発表会

2025

3. “共助”の実践は、この4つのチームに

「少しでも優しくなる」という共助というテーマを掲げ、子ども向け遊び場づくりや地域イベントへの参加などの活動を通じて、学生が学びながら地域に貢献できる場を提供しています。

01 Arts in Education (アーツ・イン・エデュケーション) 「絵で夢を、活動で喜びを届ける」

アーツ・イン・エデュケーションとして、MOA美術館主催「坂戸鶴ヶ島児童作品展」の運営をサポートしています。子どもたちには、絵を通して自分の未来や夢を表現する楽しさと自信を提供し、地域の市民ボランティアには、活動を通じて誰かの役に立つ喜びや、年齢に関わらず必要とされる実感を届けています。



Co-Local Lab (コ・ローカル・ラボ) 02

「小さなサポートで、地域の笑顔をつくる」

コ・ローカル・ラボでは、地域を支える活動として、行政からの依頼に基づき体育祭や文化祭への参加・企画・運営を行っています。学生は地域の運営会議に参加することで住民の思いや考えを理解しつつ、荷物の運搬や走るサポートなど小さな支援を行い、イベント運営を円滑に進める役割を担います。公務員志望者が多い学部の学生にとって、地域活動の現場を体感できる貴重な機会にもなっています。



03 Happy-lucky-café (ハッピーラッキーカフェ)

「遊びでつなぐ、地域と子どもと大学生」

少人数しか集まらない小学生たちのために、思いっきり遊べる場所を提供する活動です。大学生が球技や体力差へのサポートを行うことで、元気な子どもたちも安全かつ楽しく遊ぶことができます。この活動を通じて、子どもたちが地域に関わり続ける「関係人口」の形成を目指しています。他大学とも協力して活動しています。



Community Action Lab (コミュニティ・アクション・ラボ) 04

地域と学生で小さな課題を解決

地域課題解決ミニプロジェクト(検討中)

地域からの依頼を受け、商店街・公園・学校などと連携して、小さな地域課題を学生がサポートする活動を検討しています。公園の花壇整備や地元のお祭り準備、地域防災の支援など、どのような形で関わるかを模索しながら、学生が地域の一員として学び、この空気感が好きと言ってもらえるような、共助の実践につなげられる活動にしたいと考えています。

